

2017年3月期 第2四半期 決算補足資料

2016年11月14日



(注意事項)

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

2017年 3月期 2Q 連結業績 概要【PL】

単位：百万円	2017年3月期 2Q 実績	2016年3月期 2Q 実績	対前期増減額	対前期増減率	2017年3月期 通期 予想
売上高	1,703	1,332	371	+27.8%	4,087
営業利益	244	172	72	+41.3%	600
経常利益	243	171	72	+41.7%	557
純利益	164	111	53	+46.9%	367

2017年3月期第2四半期業績は、前年同期比で売上高 27.8%増、営業利益 41.3%増の増収増益を達成。

■売上高

- ・大手顧客へのOEM提供の拡大および分譲・賃貸アパート・マンション向けサービスの安定した成長により、サービス戸数の大幅増加。

2016年3月期末比 24,059戸増 累計 166,287戸

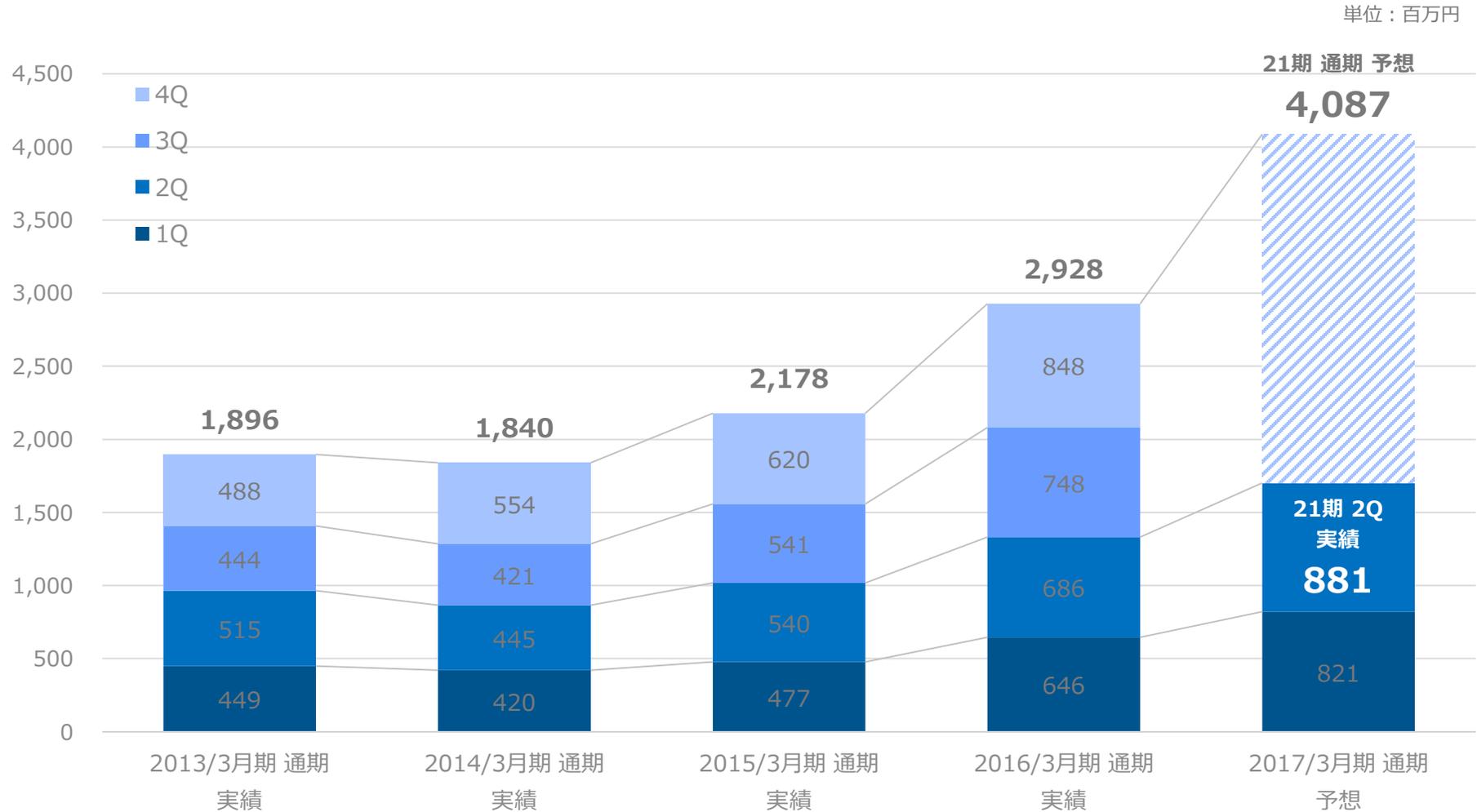
- ・大手顧客を中心に新規取引先の開拓も継続的に推進。
- ・周辺分野の商材（監視カメラ、LED販売など）販売の強化に加え、新規商材の開発にも注力。

■営業利益

- ・営業利益は、先行投資による販管費増はあったものの、マンションISP事業の伸張で吸収し、大幅増益。
- ・将来を見据えた体制強化のため、能力・資質を重視した人材を積極採用。前年度末の従業員 119名体制から 138名体制へ
- ・営業利益率は、前年同期 13.0%から 14.3%に改善。

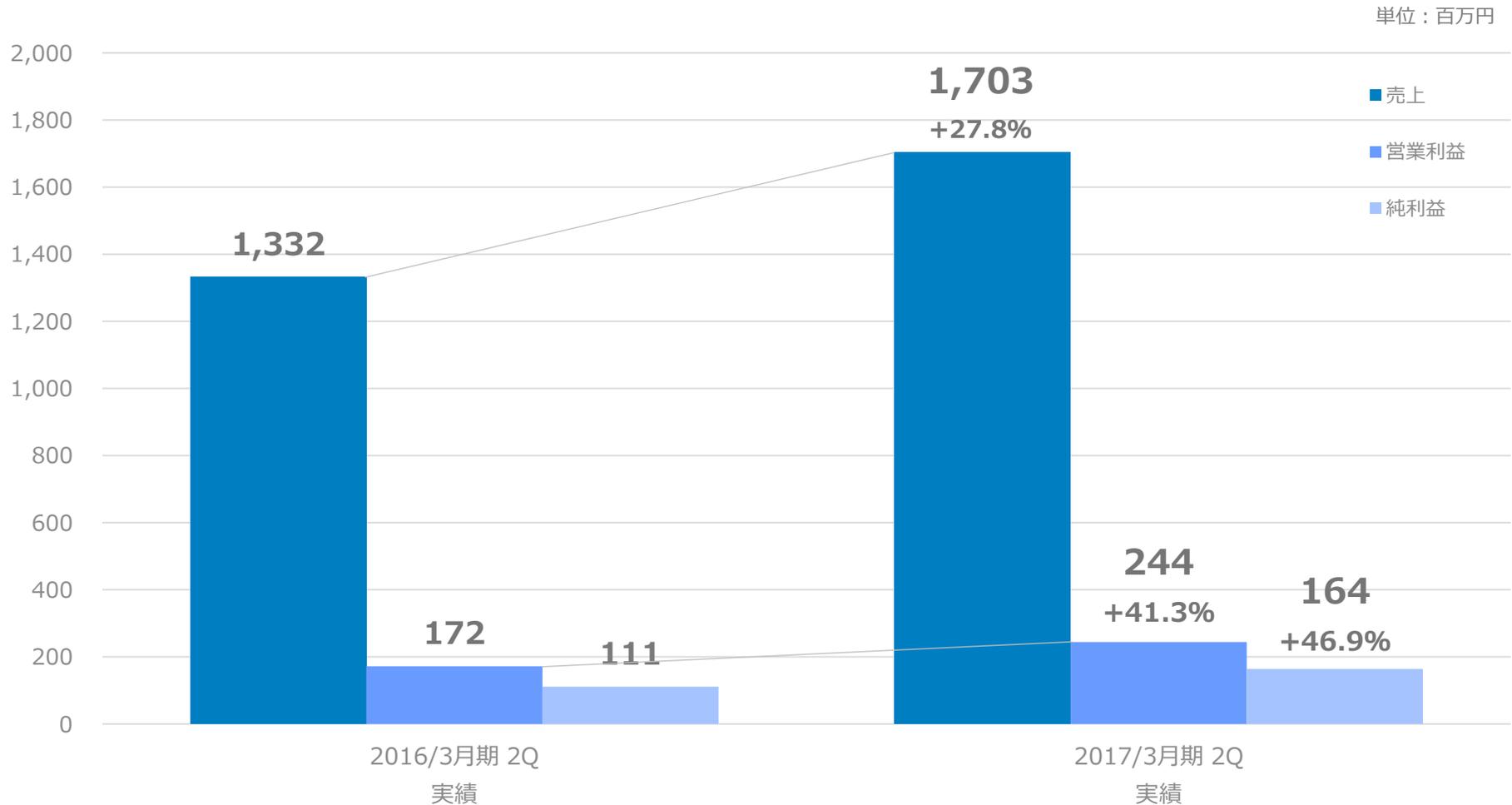
年間売上高推移（四半期別）

マンションISP事業において大手顧客のサービス戸数拡大などに伴うランニング売上増で、
第1四半期同様、過去最高売上高を達成。



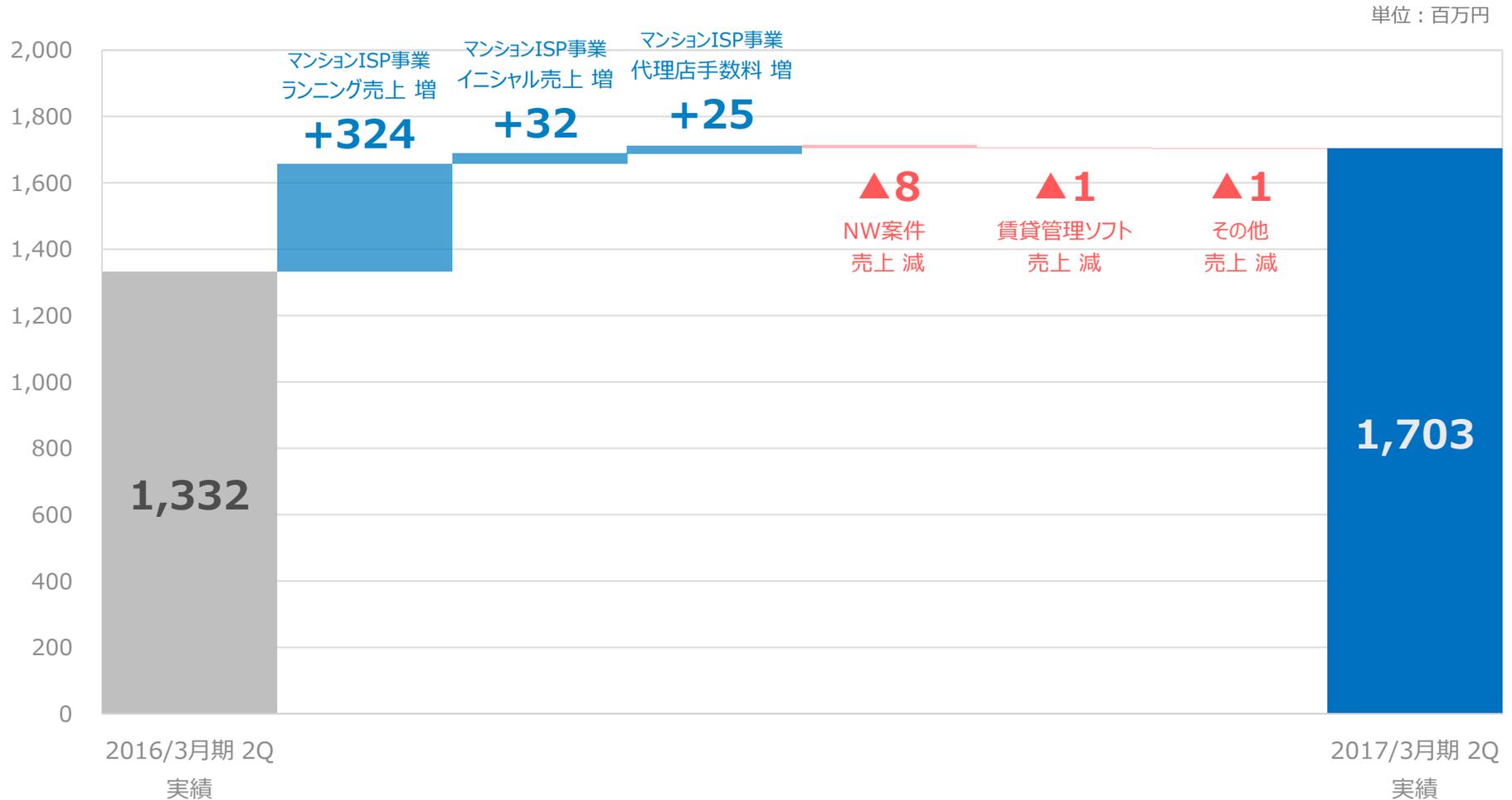
2017年 3月期 2Q 連結業績 前期比較

以前より積極的に進めてきた大手顧客のサービス戸数拡大と分譲・小規模賃貸マンション向けサービスの堅調な伸びで大幅な増収、増益を牽引。



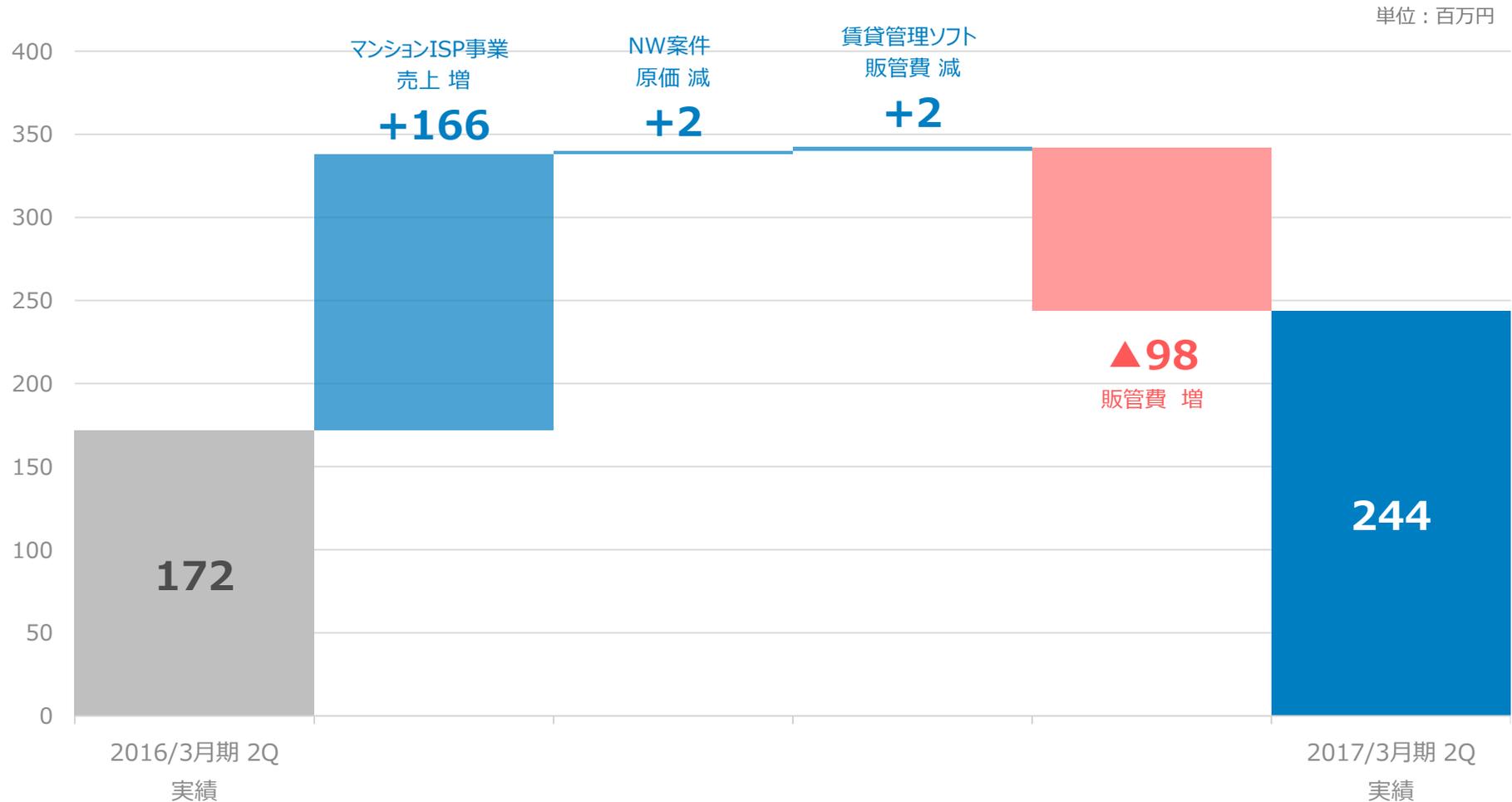
2017年 3月期 2Q 売上高 前期比較

マンションISP事業が引き続き好調、サービス戸数増加・解約率低下によるランニング売上を順調に積み上げ。
前年同期比 27.8%と大幅増収。



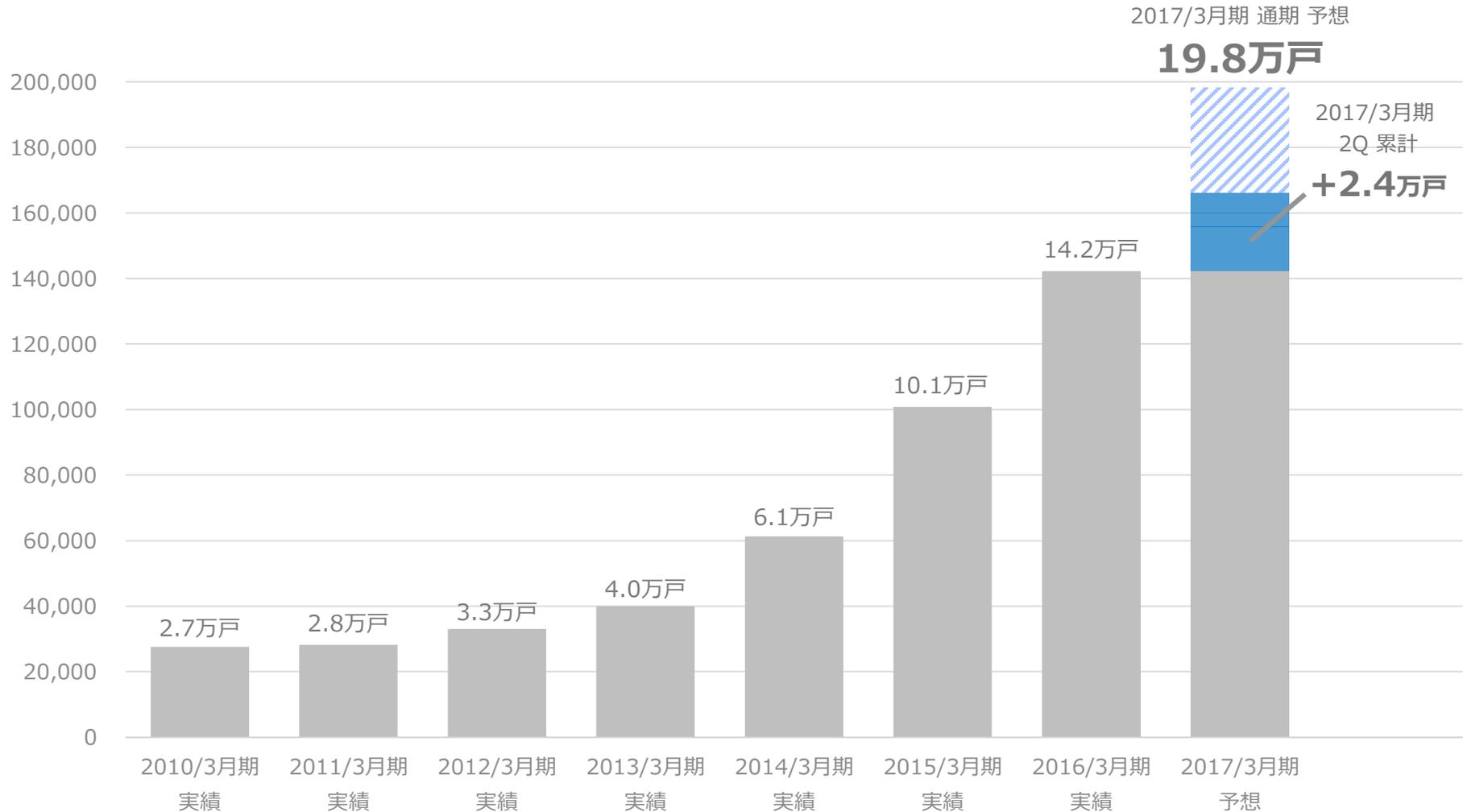
2017年 3月期 2Q 営業利益 前期比較

マンションISP事業の売上高増が、将来に向けた体制整備・強化の先行投資（採用、システム整備など）による販管費増加を吸収。



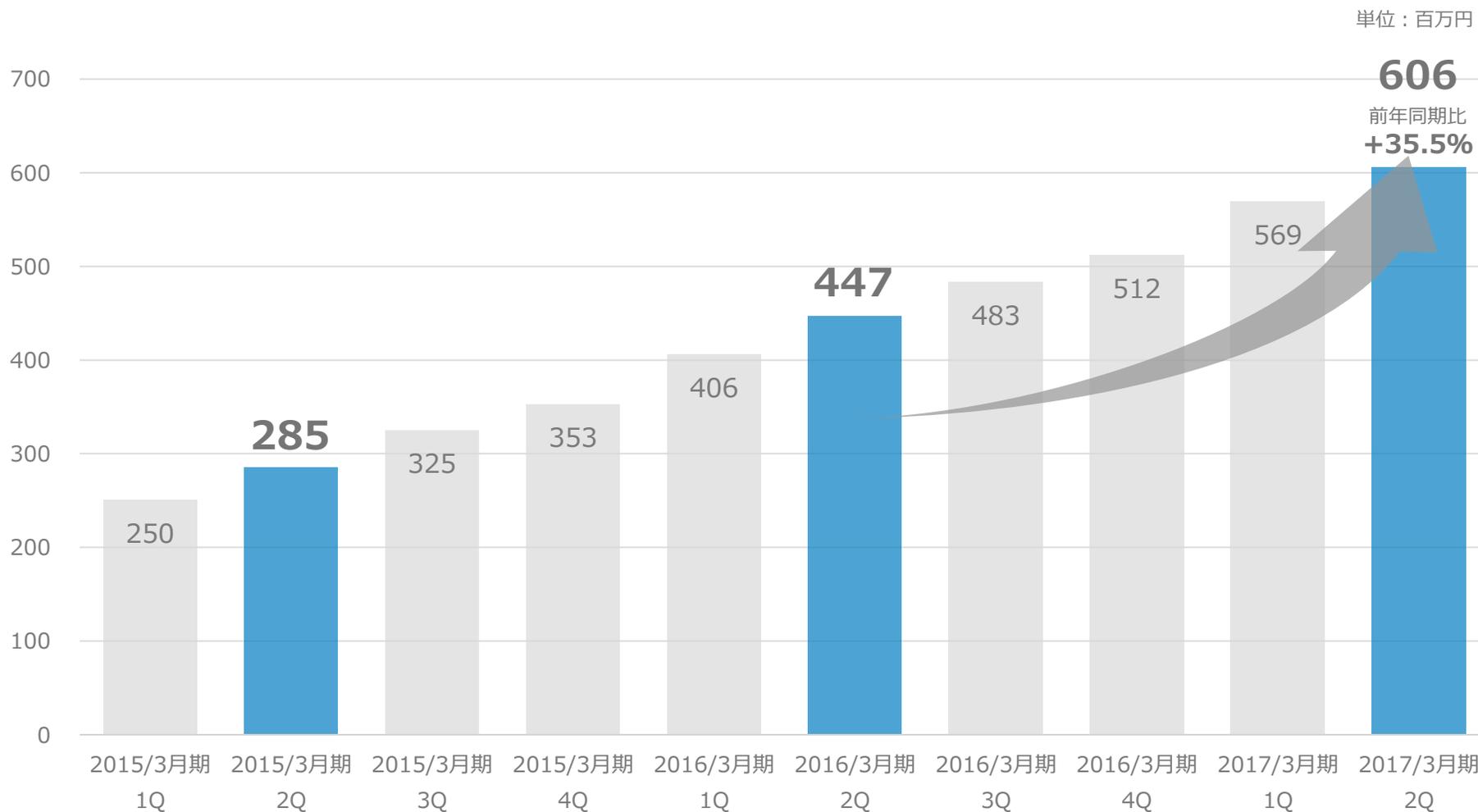
集合住宅向けISP 導入実績

サービス戸数は、前期末から 2.4万戸増加し、今期3月末の目標 19.8万戸に向けて順調に推移。
2017年3月期 2Q時点の累計数 16.6万戸。



集合住宅向けISP ランニング 売上高推移

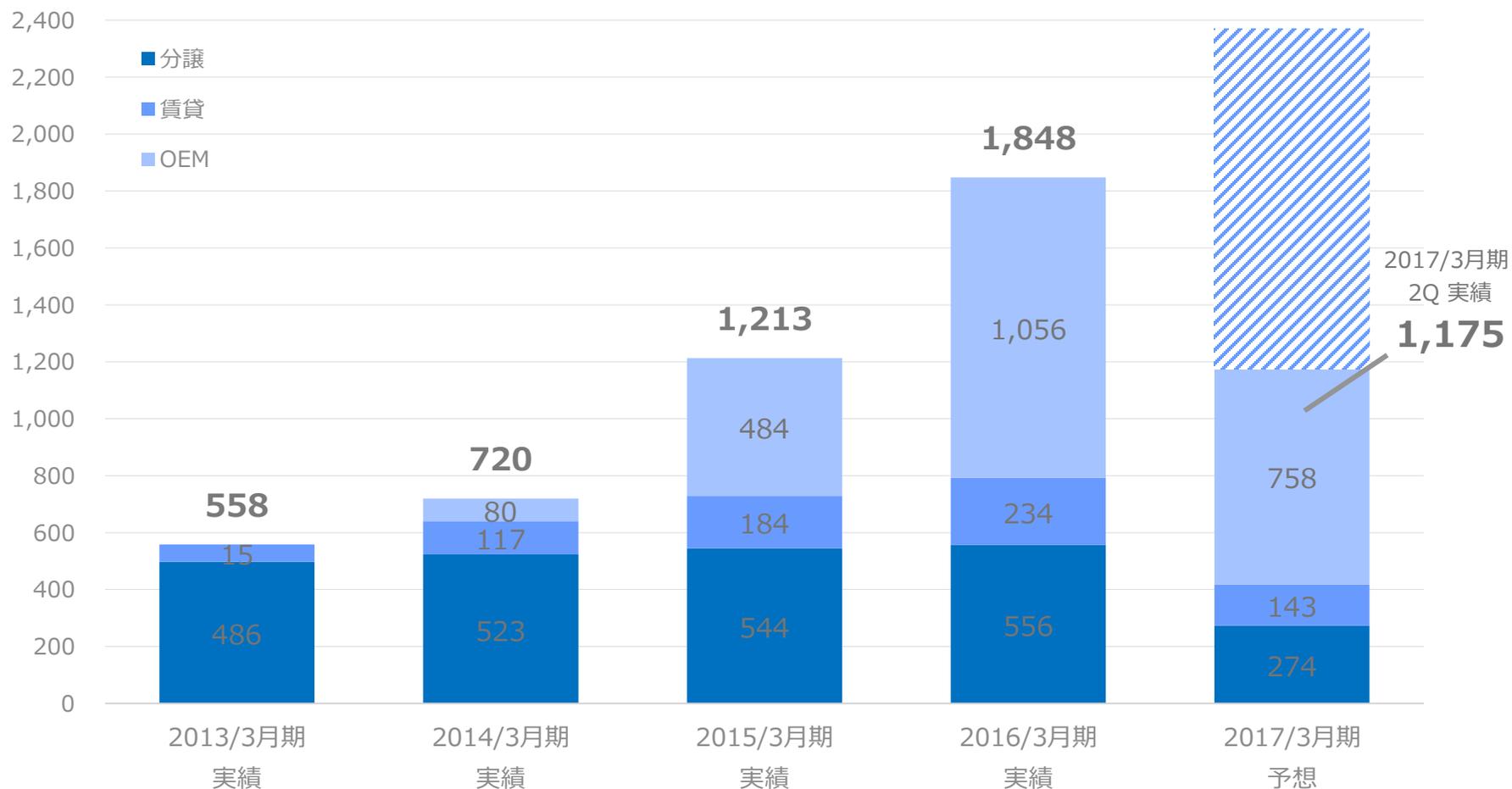
ランニング売上は、サービス戸数拡大とともに増加、事業の安定的な収益基盤を構築。
事業の安定性を示す指標の売上高全体に占めるISPランニング売上の割合は、68.7%。



集合住宅向けISP ランニング 売上高推移（カテゴリー別）

賃貸アパート・マンション市場は、供給戸数が堅調に増加。
大手顧客へのOEM提供が続伸しており、賃貸向け（Rent Agent）の割合も増加。

単位：百万円



ご参考
